杉森

杉並区立 杉森中学校
学校だより 第３４２号
平成２６年3月２５日
平成２５年度　第１１号

「自分自身の成長のために」

校長　大橋　亮介

３月２０日（木）の卒業式、巣立つ卒業生と見送る在校生の立派な態度は、今や杉森中の伝統となった。以下に、卒業式の式辞を要約し、卒業生の前途を祝うとともに、在校生には、これからの杉森中の未来に向けて、次に自分がすべきことを考えてもらいたい。

１　「うらやましいと思ったらやってみる」

「隣の芝生は、青い」という言葉がある。これは、自分以外のものは、何でもよく見えるという意味である。たとえば「スポーツ万能、成績抜群の人」がいれば、「うらやましいなあ～」と思うことはあると思う。人には、個性や能力、適性がある。しかしこれらは、今の状況を見て判断されたものであり、決められたものではなく、これからの経験や環境、人との出会いなど様々な体験や、自分自身の心構えで変わっていくものである。

うらやましいと思うことは、「いま自分ができていないことができるといいなあ～。」「自分にない能力が身に付くといいなあ～。」という願望が隠れている。願望や欲求は、エネルギーの源。「うらやましい」と思った時、自分の中に隠れた能力を引き出すチャンスになるかもしれません。「うらやましいと思ったらやってみる、行動に移してみる。」そうすることで、より一層自分自身を成長させることができるはずである。人の個性や能力、適性は、自分自身の行動で、よい方向へ変えることができるのである。

２　「１００点以外はダメな時がある」

努力を続けているにもかかわらず、報われない結果だったり、大事な時になると思いがけない結果になってしまい、「運が悪い」と思うことがある。先日、ソチ　オリンピックが終わり、フィギアスケートでは、羽生結弦選手と浅田真央選手のあまりに対照的な光景を見ることとなった。二人の目指していたものは、金メダル。そのための努力は、肉体的、精神的、能力的、技術的、全てのことに努力をし続け、１００点を出すためにオリンピックに臨んだ。

たとえば、卒業生の進路決定でも同じことが言えるのではないでしょうか。自分の目標進路に向け、自分自身の全ての力を出し切り、入試に臨まなくてはいけなかったと思う。自分の１００点を出し切ったけれど、望む結果が出せなかった人もいる。それは、自分自身でも分からない、精神的なプレッシャーが加わり、残念ながら、力を出し切れずに終わってしまったからだと思う。人生には、いくつかの「ここぞ！！」という場面が必ずある。そのとき、プレッシャーにも打ち勝つだけの実力を身に付けるためには、夢や希望を持ち続け、その達成に向けて、根気強く、努力していかなければいけない。

３　「いつも明るく笑顔を忘れない」

私は、初めて出会う人には笑顔で接することを心がけている。人との出会いは、第一印象がとても重要である。

もしあなたが、初めて出会った人が、不機嫌そうに睨みつけるような顔つきであなたを見ていたら、どのような印象を持つだろうか。出会いは、一期一会。出会いのその瞬間が大切である。社会に出て大切なことは、「誰からも愛され、褒められ、必要とされ、人の役に立てること。」である。そして、誰からも信頼されること。そのための第一歩が、「いつも明るく笑顔を忘れない」ことである。

私は、生徒諸君のさらなる成長に期待している。

～ ３月のアルバム ～

【中学生レスキュー隊】３/１(土)

【 卒業記念講演会 】３/３(月)

【自転車安全運転講習会】３/４(火)

【3 年校外学習】 ３/７(金)

【 高円寺ウルトララリー 】３／８ (土)

【 ニカラグアとの絵画国際交流 】

【 ３年 普通救命講習会 】３／１０(月)

【 防災講演会 】３／１０ (月)

【 校内作品展 】３／７ (金) ～１４ (金)

【 杉並区青少年表彰 】３／１６(日)

【 第６６回　卒業式 】３／２０ (木)

【 ４月の予定 】※新年度に配布する４月行事予定表をご確認ください。

７ (月) 着任式・始業式
８ (火) 入学式
１０ (木) 生徒会入会式
１１(金)定期健康診断(始)
１４ (月) 部活動生徒説明会
１５ (火) 保護者会
１６ (水) 杉教研総会
１７ (木) 個人写真撮影・耳鼻科検診
１８ (金) 離任式
２１ (月) 身体計測・体力調査
２２ (火) 全国学力調査（３年）
内科健診（２年）
２３ (水) 小中合同研（馬橋小）歯科検診
２４ (木) 内科健診（３年）
２６ (土) 学校公開
部活動保護者会
２９ (火) 昭和の日